

# アジア国際子ども映画祭

210点の応募から受賞作品決定



▲映画祭での受賞式

アジア国際子ども映画祭の関西・四国ブロック大会を8月28日、文化体育館で1100人の参加をいただき開催しました。「家族」をテーマに、子どもたちがホームビデオで撮影した3分以内の映像作品を募集して、近畿、四国、遠くは北海道からの応募作品210点の中から12月に鹿児島県指宿市で開催される本選への出品作品など各賞を決定しました。

多くの作品のなかで「大好きな家族」という気持ちで伝わってくる作品の数々が受賞し、最優秀賞には、「放課後子ども湊教室」の11人が酪農家の一族となって暮らす様子を演じた作品が選ばれました。(受賞者は広報9月号、市のホームページに掲載)

映画祭には、提唱者で名誉会長の俳優・杉良太郎さんや歌手の伍代夏子さん、山川豊さん、winds.の皆さん、俳優の山田純大さんもゲストでお越しいただきました。杉良太郎さんは、今回の感想を述べ、「子どもの心に内視鏡を入れようという、この映画祭の目的を考えると、字幕やナレーションを入れずに、映像だけで何を訴えているのか考えさせられる作品が集まることを今後期待したい。その意味では、国際大会に寄せられる海外作品は、非常にレベルが高いので、来年

の南あわじ市で開催される国際大会もぜひ頑張ってほしい」と激励しました。



▲映画祭の感想を話す杉良太郎さん

## 人権サマーフェスティバル



「人権文化にあふれた差別のないまちづくり」をめざして人権サマーフェスティバルが8月28日、文化体育館で開催されました。人権相談や手づくりの紙芝居、映画「おとと」の上映が行われたほか、野外テントでは、点字で名札を作ったり、手話でジャンケンしたりするコーナーなどが設けられ、参加した人たちに、人と人が温かくふれあつて、つながりの輪を広めることの大切さを感じてもらおう機会となりました。

**23年度 子ども映画祭**

来年のテーマは「教育」で、現在作品を募集しています。

**作品募集の締切日**

①上半期=来年2月末  
②下半期=来年6月末

※それぞれに大賞があります

生涯学習文化振興課  
☎37-3020

## 元気で長生き、100歳を祝う



今年度内に100歳を迎える高齢者12人のうち、訪問を希望された7人を中田勝久市長が9月8日と10日に訪ね、祝い状と記念品の羽毛布団を贈り長寿をお祝いしました。

## 高齢者7人を訪問

荻原ちつるさん(広田)宅では、ちつるさんが息子夫婦らと一緒に中田市長を迎え、「ありがとうございます。いつも感謝の気持ちでいます。これからも前向きに、清く正しく明るく生きていきたい」と話しました。また、ちつるさんは、87歳から通信教育で書道をしてきたり、デザインサービスで学んだ折り紙で夜中まで没頭したりと、何をするのに一生懸命。「負けたらあかん」と自分に言い聞かせ、今は歩く稽古もしたいといっています。

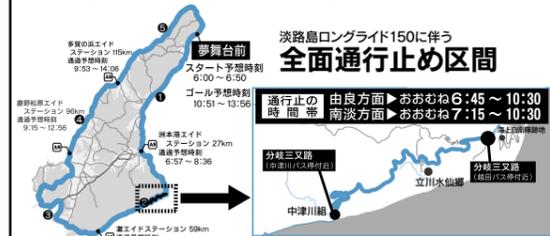


▲息子夫婦らと中田市長を迎えたちつるさん

## 2010スポニチ 淡路島ロングライド150

10月31日午前6時 淡路夢舞台スタート

淡路島を一周するサイクリングイベント「淡路島ロングライド150」が開催され、全国から集まる2,000人の参加者がカラフルなコスチュームで走り抜けます。秋の淡路島を力の限り疾走する選手たちをおもてなしの心で応援しましょう。また、コース上における交通面でのご協力をお願いします。



図スポニチ淡路島ロングライド150実行委員会事務局(淡路島くにうみ協会内) ☎22-6000

## ふるさと納税

ふるさと南あわじ応援寄附金 (9月16日現在)

寄附状況の公表

区分	件数	金額
南あわじ市内	330件	44,198,219円
市外(島内)	47件	5,871,000円
市外(島外)	209件	27,664,940円
合計	586件	77,734,159円

詳細は市のホームページに掲載しています

## ふれあい市長室

理念を持って市政に従事

南あわじ市長 中田勝久

先日の議会一般質問で、森上議員より市長の「政治に対する夢」とは何かとの質問があり、良い機会をいただけたのでご報告しました。町議会議員、町長、市長として、長年に亘り微力ではありますが、肅々と諸事業の推進と諸問題の解決に取り組んで来たと自負致しております。

私の政治に対する夢は、なんといつても市民の幸せが第一です。弱い立場の人たちへのハード、ソフト面の施策の実現です。もう一つは、人づくりです。次世代を担う人材の育成を積極的に取り入れていきたい。南あわじ市で生まれ育つた子どもが夢と希望を持ち、どこに行っても誇りを持って郷土を自慢できるような県下一、日本一のまちに夢を持っています。また、大起業家松下幸之助さんの言葉「青春とは心の若さ」を忘れず、市民と共に頑張りたいと思っています。

私の理念として、自分自身を確立するためには、自らの生き方、考え方に揺るぎない原理原則を持つことだと考えております。社会情勢を見ますと、目先の情報に左右されることが少なくありません。洪水の如く流れてくる情報を自ら熟慮すること、

ことなく、鵜呑みにする傾向があまりにも強いように思えるのです。その結果、自らを失い不安な心を抱える人たちが年々増えているように思います。

「平成」の元号を考案したとされる陽明学者安岡正篤先生は、私の尊敬する一人です。東洋思想の研究に従事し、政界、経済界の思想啓蒙に努められました。安岡先生は、言葉の奥に宿る思想こそが人生を決め、世の中を形づくる根源の力と考え、世界中の人々の言葉に学び、思想を研究した方です。先生は、「思考の三原則」として、①目先にとらわれず、長い目で見る②物事の一面だけを全面的に観察すること③枝葉末節にこだわることなく、根本的に考察すること、と説かれました。

激動する時代において、あらゆる分野のリーダーの考え方として大事であると思います。安岡先生は、戦後日本の復興も人の育成から始めなくてはならない、長い目で多面的・総合的に、さらに根本的に物事を考えられる人を育てようとした。今日の激動の時代、改めてその意味を深くかみしめております。

### 10月~12月は『滞納整理強化期間』

兵庫県「税滞納整理回収チーム」と共同徴収

市税は市民に安定した行政サービスを行うための大切な財源です。しかし、再三の催告にもかかわらず、未だ納付していない人がいます。納税の公平性から見て、このような滞納者を放置することはできません。

昨年度に引き続き、県庁職員と共同で呼出しや訪問等を行い、滞納者に対し、厳しい姿勢で徴収に臨みます。

**誠意のない滞納者には、差押えを行います**

市税や介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付が遅れている人、忘れていた人は、至急納めてください。

失業等で一括納付できない場合は、収税課に納付計画等について相談ください。

収税課 ☎43・5034

納付方法については、**収税課 ☎43-5034** にご相談ください。

**換価** 土地・建物、預貯金、生命保険、勤務先から支給される給与など

**差押え** 10月12日(火) 対象者に発送

**督促状**

**催告書**

**納期限** 【滞納処分の流れ】